

## 大阪工業大学大学院 ディプロマ・ポリシーと学位論文審査項目・基準との関連

## 大学院 工学研究科 電気電子・機械工学専攻 機械工学コース

## 博士前期課程

《 DPを達成するために特に関連度が高い項目に○ 》

ディプロマ・ポリシー		学位論文審査項目						
		項目1)	項目2)	項目3)	項目4)	項目5)	項目6)	項目7)
研究科DP	(1) 人類が現在直面している持続不可能性をもたらす諸課題の解決に取り組み、専門職業人として社会の持続可能な発展を担うことができる。	○		○	○			
	(2) 学士課程教育で得た成果をさらに高め、専攻における専門性と隣接する知識を総合して課題解決に取り組むことができる。				○	○		
	(3) 研究活動を介して、課題内容を理解し解決策を導くことができ、倫理観をもって他者との協働による課題解決に取り組むことができ、説明することができる。					○		○
専攻DP	(A) 専攻が包含する幅広い技術的な背景を理解し、多面的な視点から諸課題に取り組み、持続可能な発展に貢献することができる。	○		○	○	○		
	(B) 電気電子工学や機械工学における基礎理論・専門知識を修得して、総合的な判断力によって課題解決ができる。		○		○	○		
	(C) 科学技術が社会や自然環境に及ぼす影響を考慮しながら、他者との協働により課題解決ができ、さらに高い倫理性に基づいて活動できる。							○
コースDP	(I) 技術者としての広範な専門的知識をもち、グローバルで多面的視野に立って、倫理観、責任感を持って高度な機械工学分野の課題に取り組み、開発した技術が社会や自然環境に及ぼす影響に配慮しながら活動でき、課題解決ができる。	○		○	○	○		○
	(II) 機械工学の課題解決において、論理的で的確な表現の文章能力を有し、プレゼンテーション能力および国際的コミュニケーション能力を身に付け、探究した成果を正確にアピールできる。						○	

## 学位論文審査項目・基準

審査項目	審査基準(満たすべき水準)
項目1) 論文テーマの妥当性	研究目的が明確で学術的・社会的意義を有すること。
項目2) 研究方法の妥当性	目的達成のため、適切な研究方法を実践していること。
項目3) 独創性(新規性)	テーマの設定、研究方法、結論等において、未知の事象・事物の発見や新たな見解を示していること。
項目4) 有用性	得られた知見が関連する分野および社会に対して有用な情報となっていること。
項目5) 信頼性	既往の研究等が適切に評価され、それらを自己の観点から十分に分析していること。
項目6) 完成度	一貫した論理が展開され、学術論文としての体裁が整っていること。
項目7) 倫理性	研究が倫理的に管理されていること。